

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	5 日	記入者	石井 宏子
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	戒長寺のお葉つきイチヨウ				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1978年(昭和53)3月28日				
所在地	宇陀市榛原戒場386番地				
所有者 管理者	戒長寺				
員数	1株				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) お葉つきイチヨウ			(樹齢)	
案内板の状況	あり(参道看板、境内にお葉つきイチヨウ=県、戒長寺=榛原町の各教育委員会の説明板				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	参道の古い急石段を上ると、目通り4m、高さ30m(市)乳(気根)も垂らしたイチヨウの巨樹が見え、樹勢もまだ活発のように感じた。参道の石段に入っすぐの戒長寺の案内板は錆?で殆ど読めないが、境内の戒長寺やお葉つきイチヨウの案内板は、汚れはあるものの、充分読める状態で、境内も綺麗に保たれていた。参道入口の古くなって読めない案内板は撤去しても良いのではないかと思う。				
今後の課題	今は樹勢もきわめて旺盛(県教育委員会説明板)だが、植物の進化の研究に学術上も貴重なお葉つきイチヨウでもあり、今後も保護見守り、将来的には専門家も交えた対策も必要。また、杞憂かもしれないが、イチヨウの美しさを多くの人に見てほしいと思う一方、一時期に集中して人が訪れるようになると、参道も狭く小さな境内なので、不安を感じる。観光協会の看板にあるような呼びかけなども必要になるかもしれない。				
その他 (由緒など)	戒長寺は戒場山中腹にあり、聖徳太子建立とも空海が伽藍整備とも伝わるが、信憑性に乏しい(観光協会など)。麓の戒場遺跡の発掘により、戒場集落に120の規模の大規模な遺構が確認され、そこが戒長寺旧境内だったとも考えられている。現在は境内のイチヨウの巨樹のすぐ横に五輪塔、戒場神社鳥居、反対隣には国重文、十二神将を鋳出した銅鐘の鐘楼門が並び、多くの仏像を所蔵し、本尊の薬師如来から戒場薬師とも呼ばれている。				
コメント	調査時にはイチヨウが境内一面に散り敷かれるという時期には、少し早かったが、その様子が十分に想像できるお寺だった。また、境内でお葉つきイチヨウを見つけることができたのは感激だった。参道の石段や美しい境内、国の重文の鐘がそのまま釣られている。イチヨウと同じく、お寺の雰囲気も維持できることを願う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	11 月	5 日	記入者	石井 宏子
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	戒長寺のお葉つきイチョウ
------	--------------

参道入口付近の案内板	参道の石段
------------	-------



説明板	お葉つきイチョウの巨木
-----	-------------



境内	お葉つきイチョウ(調査時に見つける)
----	--------------------

